



# ブラジル国 ポータブル超音波画像診断システム普及促進事業 レキオ・パワー・テクノロジー株式会社

## ブラジル国の開発ニーズ

- 国民皆保険対象の公立病院や地方部では医療機器や医師不足が深刻なことから、都市部の病院は患者が集中し機能不全に陥っている。そのため低所得層や地方部住民への適切な診断を含む基礎医療の充実が喫緊の課題である。
- 医師が超音波画像の読影技術を習得するための研修参加やOJT機会は都市部の大病院に限定され、診断精度に大きな役割を担う超音波画像診断の普及が進まない要因となっている。

## 提案企業の技術・製品



携帯型超音波診断装置「PsCAM」

- ・ 途上国の潜在市場に特化した日本品質で安価なデバイス
- ・ 遠隔支援対応ビューアーと伝送技術
- ・ ナレッジシェアプラットフォーム

## ブラジル国側に期待される成果

- 慢性化する公的医療機関での医療設備不足の解消。
- 地方の医療機関での適切な診断とリファアの促進による公立病院の正常化。
- 超音波画像の読影技術に関する教育・自己学習支援によって経験の浅い医師のスキル向上が図れることによるブラジルの医療サービスの底上げ。
- 医療僻地におけるポータビリティ及び遠隔診断対応による医療アクセスの向上。

## 普及促進事業の内容

- 医療機器認証の取得に向けた活動。
- 現地医療機関におけるデモ機の実践活用(病院及び奥地巡回診療)。
- 現地医療関係者に対する読影技術に関する技術指導。
- PsCAMの有用性に対する理解の普及・マーケティング活動。
- 他ドナー、国際機関の動向調査。
- 現地販売体制及び現地組み立て生産体制の確立に向けた活動。

## 事業のポイント

- ・ 現地保健局との緊密な連携による早期医療機器認証の取得及び公共調達基準へのスペックイン。
- ・ PsCAMの有用性の認知の拡大に向けた実践活用実績の確立とその普及活動。

## 日本企業側に期待される成果

### 現状

- PsCAMを現地で普及に向けて、医療機器認証の取得と、現地医療関係者による評価を獲得し公共調達への応札可能な環境を整備する必要がある。

### 今後

- PsCAMの医療機器認証の取得。
- 現地販売体制の確立及び現地組立生産の可能性調査の完了。
- パラー州政府入札へのスペックインと公共調達の実績化。
- 医療関係者によるPsCAMの有用性に対する理解の普及。